2024年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年７月31日

上場会社名　前澤化成工業株式会社　上場取引所　東
コード番号　7925　URL　https://www.maezawa-k.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）久保　淳一
問合せ先責任者　（役職名）取締役兼上席執行役員管理本部長　（氏名）齋藤　巌　TEL　03-5962-0711
四半期報告書提出予定日　2023年８月９日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第１四半期の連結業績（2023年４月１日～2023年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第１四半期	5,772	5.3	336	△29.5	427	△25.3	283	△27.1
2023年３月期第１四半期	5,483	7.6	477	113.1	571	83.9	389	91.5

（注）包括利益　2024年３月期第１四半期　754百万円（188.2%）　2023年３月期第１四半期　261百万円（385.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第１四半期	19.14	－
2023年３月期第１四半期	26.25	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年３月期第１四半期	47,186	38,738	81.9
2023年３月期	46,506	38,357	82.3

（参考）自己資本　2024年３月期第１四半期　38,650百万円　2023年３月期　38,268百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	－	25.00	－	25.00	50.00
2024年３月期	－				
2024年３月期（予想）		25.00	－	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	11,690	2.8	720	△23.5	840	△22.9	550	△21.5	37.10
通期	23,600	0.4	1,580	△18.8	1,820	△18.2	1,200	△17.9	80.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期１Ｑ	15,732,000株	2023年３月期	15,732,000株
②　期末自己株式数	2024年３月期１Ｑ	909,088株	2023年３月期	909,088株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期１Ｑ	14,822,912株	2023年３月期１Ｑ	14,822,275株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が和らぐ中で、企業収益や雇用・所得環境に改善の兆しが見られており、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な金融引き締めを背景とした海外経済の減速やエネルギー価格の高騰をはじめとした物価上昇、日銀による金融政策の動向等が与える景気・経済への影響については注視する必要があり、国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界につきましては、政府による住宅取得支援策や低金利の継続が住宅購入層の需要を一定程度下支えしている状況にはありますが、住宅価格の高騰や物価の上昇に加え、将来的な金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念などから、当社の業績に影響が大きい戸建て住宅の新設住宅着工戸数は、前期に比べ８％近い落ち込みで推移するなど、厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する。」という企業理念のもと、持続的な成長と発展を図るため、中期経営計画「Look Forward 2023」で掲げた３つの施策「成長ドライバーの創出」「事業基盤整備」「ESGを意識した取り組み」を推進してまいりました。

当第１四半期連結累計期間における業績につきましては、戸建て住宅の着工戸数が減少する中、売上面では前期を上回ることができましたが、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった原材料価格の高騰や電力費値上がりの影響が大きく、利益面では前期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は、57億72百万円（前年同期比5.3％増）、営業利益３億36百万円（同29.5％減）、経常利益４億27百万円（同25.3％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益２億83百万円（同27.1％減）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

①管工機材

管工機材事業につきましては、戸建て住宅の新設着工戸数が低調に推移する中、主力製品の売上確保と、ビル設備分野製品「ビニコア」の拡販に引き続き努めたことで、売上高は前期を上回りました。一方、利益面では、主要原材料である塩ビ樹脂価格が高止まりしていることに加え、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった各種原材料の価格高騰の影響を大きく受けたことで、前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は53億９百万円（前年同期比5.6％増）、セグメント利益３億80百万円（同23.5％減）となりました。

②水・環境エンジニアリング

水・環境エンジニアリング事業につきましては、お客様の水処理における「業務の効率化」と「環境保護」を目的とした多様な水処理システムの提案・施工を行うとともに、給排水衛生設備・農業用排水のポンププラントなど、各種工事の施工を行ってまいりました。

水処理システムの工事案件については、受注が少なく民需の面では低調に推移したことや2022年10月31日に連結子会社化した常陽水道工業株式会社が手掛ける給排水衛生設備や農業用排水のポンププラント工事といった各種官需案件の工事進捗が、下期に集中することなどから、売上高は１億87百万円（前年同期比3.6％増）、セグメント損失42百万円（前年同期は25百万円のセグメント損失）となりました。

③各種プラスチック成形

各種プラスチック成形事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が和らぐ中、受注回復への期待もありましたが、国内製造業の戻りはまだまだ鈍く引き続き厳しい経営環境にあります。このような状況の中、新規案件の受注獲得活動と並行して、自社ブランド製品の販路拡大に向けた営業活動を新潟県内の企業を中心に展開するなど、売上・利益の確保に努めてまいりましたが、業績は前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は３億15百万円（前年同期比0.6％減）、セグメント利益２百万円（同61.0％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ６億80百万円増加し、471億86百万円となりました。これは主として、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ２億99百万円増加し、84億48百万円となりました。これは主として、その他に含まれている未払費用が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ３億81百万円増加し、387億38百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年５月15日の「2023年３月期 決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2023年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2023年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,199	12,904
受取手形、売掛金及び契約資産	5,418	5,077
電子記録債権	4,065	3,917
有価証券	2,100	2,100
商品及び製品	2,298	2,366
仕掛品	770	843
原材料及び貯蔵品	849	868
その他	539	669
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	28,240	28,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,238	13,242
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,044	△8,128
建物及び構築物（純額）	5,193	5,114
機械装置及び運搬具	12,076	12,095
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,094	△11,156
機械装置及び運搬具（純額）	982	938
工具、器具及び備品	17,920	17,990
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,664	△17,728
工具、器具及び備品（純額）	256	261
その他	240	240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△132	△136
その他（純額）	108	104
土地	4,353	4,353
建設仮勘定	90	22
有形固定資産合計	10,985	10,795
無形固定資産		
のれん	149	145
ソフトウエア	337	315
その他	2	26
無形固定資産合計	489	487
投資その他の資産		
投資有価証券	6,148	6,524
繰延税金資産	39	37
その他	751	745
貸倒引当金	△149	△149
投資その他の資産合計	6,790	7,158
固定資産合計	18,265	18,440
資産合計	46,506	47,186

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2023年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,953	3,112
電子記録債務	753	765
短期借入金	330	330
未払法人税等	447	232
賞与引当金	433	257
役員賞与引当金	59	11
その他	2,153	2,561
流動負債合計	7,130	7,271
固定負債		
長期借入金	60	60
繰延税金負債	262	421
役員株式給付引当金	50	56
役員退職慰労引当金	154	154
退職給付に係る負債	35	36
資産除去債務	224	225
その他	230	222
固定負債合計	1,018	1,176
負債合計	8,148	8,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	27,925	27,836
自己株式	△1,034	△1,034
株主資本合計	36,642	36,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,543	2,012
退職給付に係る調整累計額	82	84
その他の包括利益累計額合計	1,625	2,097
非支配株主持分	88	88
純資産合計	38,357	38,738
負債純資産合計	46,506	47,186

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）
売上高	5,483	5,772
売上原価	3,389	3,797
売上総利益	2,093	1,975
販売費及び一般管理費	1,616	1,639
営業利益	477	336
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	52	52
受取賃貸料	22	23
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	21	17
営業外収益合計	98	95
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	4	4
経常利益	571	427
特別利益		
固定資産売却益	0	－
投資有価証券売却益	－	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	2	－
固定資産除却損	2	1
リース解約損	2	－
本社移転費用	2	－
特別損失合計	8	1
税金等調整前四半期純利益	564	429
法人税、住民税及び事業税	238	192
法人税等調整額	△63	△46
法人税等合計	175	146
四半期純利益	389	282
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	－	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	283

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）
四半期純利益	389	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	470
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△127	472
四半期包括利益	261	754
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	755
非支配株主に係る四半期包括利益	－	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2022年４月１日　至　2022年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
一時点で移転される財	5,023	86	279	5,389	－	5,389
一定の期間にわたり移転される財	－	94	－	94	－	94
顧客との契約から生じる収益	5,023	180	279	5,483	－	5,483
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,023	180	279	5,483	－	5,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	－	37	40	△40	－
計	5,025	180	317	5,523	△40	5,483
セグメント利益又は損失（△）	496	△25	5	477	△0	477

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2023年４月１日　至　2023年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
一時点で移転される財	5,305	102	279	5,688	－	5,688
一定の期間にわたり移転される財	－	84	－	84	－	84
顧客との契約から生じる収益	5,305	187	279	5,772	－	5,772
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,305	187	279	5,772	－	5,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	－	35	38	△38	－
計	5,309	187	315	5,811	△38	5,772
セグメント利益又は損失（△）	380	△42	2	339	△3	336

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。